



エア・カナダ 関西=バンクーバー線 夏期スケジュールで就航

エア・カナダ(AC)は、2015年5月より、関西=バンクーバー線を再開し、直行便を運航することになりましたので、お知らせします。

エア・カナダの関西=バンクーバー線は2008年10月に運休して以来、実に約7年ぶりの就航となり、関西空港とカナダを結ぶ唯一の航空会社となります。

同路線は来夏の旅行シーズンを見据えて2015年5月2日から運航予定で、準備が整い次第販売が開始される予定です。(政府認可申請中)

記

○ 運航開始日

2015年5月2日(土)～

○ 運航スケジュール

AC1928 便	関西発	16:25	バンクーバー着	09:55	(月・火・水・木・土の週5便)
AC1927 便	バンクーバー発	12:05	関西着	14:55(+1)	(月・火・水・金・日の週5便)

※期間により運航曜日が異なることがあります。

○ 機材仕様

型式 ボーイング B767-300ER

※ 当局の認可取得を条件とします。また、スケジュール等は変更となる場合があります。



KIX20th ITM75th

News Release

2014年9月16日

エア・カナダ、大阪－バンクーバー線に夏期スケジュールで就航 バンクーバーをハブとした国際線路線網がさらに充実

2014年9月16日、東京－エア・カナダは、2015年5月より、関西国際空港とブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバー国際空港を結ぶ路線を再開設し、直行便を運航することを発表しました。同路線は、ボーイング 767-300ER 型機にて最大週 5 便体制で運航し、エコノミークラスとプレミアムクラスを提供します。大阪－バンクーバー線は来夏の旅行シーズンを見据えて 2015年5月2日(土)から運航予定で、準備が整い次第販売を開始します(政府認可条件付)。

エア・カナダ旅客部門担当社長のベン・スミスは次のようにコメントしました。

「来年の5月から、国際線ネットワークに大阪が再び加わることにより、関西空港とカナダを直行便で結ぶ唯一の航空会社になれることは、私共にとって非常に喜ばしいことです。景観美、アウトドア、文化などで人気の高いバンクーバーを訪れる大阪からのお客様、そして日本第二の都市、大阪を訪れる北米からのお客様に、この季節定期便をご利用いただきたいと願っています。また、関西空港発着便のフライトスケジュールは、バンクーバーでカナダ国内線とアメリカ線に便利な接続が可能です。」

なお、関西空港－バンクーバー線の就航開始は 2015年5月2日(土)を予定しており、2015年10月24日(土)まで最大週 5 便体制で運航します(政府認可条件付)：

便名(運航曜日)	出発	到着
AC 1928 (月・火・水・木・土)	関空 16:25 発	バンクーバー 09:55 着
AC 1927 (月・火・水・金・日)	バンクーバー 12:05 発	関空 14:55 着(翌日)

エア・カナダについて

エア・カナダは、世界5大陸の180以上の目的地へ向けて旅客や貨物を運ぶ定期便・チャーター便を運航するカナダを代表するフラッグ・キャリアです。世界ランキングで20位以内に位置する民間エアラインとして、2013年には3,500万人のお客様にサービスを提供しています。エア・カナダは、カナダの60の都市、アメリカの49の都市、ヨーロッパ、中東、アジア、オーストラリア、カリブ海諸国、メキシコ、南アメリカの73の都市をダイレクトに結ぶ、定期旅客便を運航しています。エア・カナダは、世界で最も広範な地域—193カ国、1,269カ所の空港をカバーする空輸ネットワークであるスター・アライアンスの創設メンバーです。エア・カナダは英スカイトラックス社の調査で、北米で唯一4つ星ランクを誇る国際航空会社です。2014年には、世界中の航空利用客1800万人を対象に実施したスカイトラックス調査で「北米のベストエアライン」を5年連続で受賞しています。詳しくは、エア・カナダ公式サイト aircanada.com をご覧ください。

将来の予測に関する注意

エア・カナダの一般向け情報には、当該証券法の趣意範囲での文書または口頭による将来予測に関する記述が含まれている場合があります。将来予測に関する記述は、その性質上下記に示す事項を含めた仮定に基づくものであり、重大なリスクや不確実な事由に影響される可能性があります。どのような予想や将来的予測・記述であっても、外的要因やビジネスにおける一般的な不確定要素によって変化・変更することがあり、完全に信頼できるものではありません。実際の結果は、さまざまな要因により、将来予測に関する記述で示された内容とは著しく異なる可能性があります。そうした要因としては、業界動向、市場、信用・経済状況、運営コストを削減し資金調達を確保する能力、年金問題、エネルギー価格、為替レート・金利、雇用・労使関係、競争、戦争、テロ行為、伝染病、保険問題・コスト、ビジネスの季節的要因による需要の変動、供給問題、法改正、規制の制定または手続き、係争中および将来的な訴訟問題や第三者による法的行為、それに加えて、www.sedar.com で入手可能なエア・カナダの一般公開ファイルで示される要因などが挙げられますが、これらに限られるわけではありません。このプレス・リリースに含まれる将来的予測に関する記述は、本プレス・リリースの発行日時点における会社の予測を示したものです。今後変更となる可能性があります。ただし、会社としては、当該証券規制事項により必要となる場合を除き、新たな情報、将来的事象、その他にかかわらず、将来的予測に関する記述を更新または修正する意図・義務を一切拒否するものです。

- 30 -

<このリリースに関するお問い合わせ先>

エア・カナダ マーケティング部 笹淵 正一郎(東京)

TEL: (03)4335-9358 または japan.public.relations@aircanada.ca

<報道発表資料やその他の情報のご参照先>

www.aircanada.com

AIR CANADA 

A STAR ALLIANCE MEMBER 